

音楽科

1年

※DF 特太ゴシック体は学力向上関わる内容

※下線部は表現する能力の向上に関わる内容

課題分析	授業改善推進プラン
<p>1 知識・技能</p> <p>合唱や鑑賞の活動を通して、曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解することができるが、<b>創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける</b>ことが課題である。</p> <p>2 思考・判断・表現</p> <p>歌唱活動において、音楽表現について思いや意図をもつことがおおむねできるが、それを言葉にしたり、実際に表現したりすることに苦手意識をもつ生徒が多い。また、<b>鑑賞では音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる</b>ようにする。</p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>多くの生徒が課題解決に向けて主体的・協働的に活動に取り組んでいる。<b>様々な音楽を聴いたり演奏したりして、さらに我が国の音楽文化に親しみをもつことができる</b>ようにする。</p>	<p>1 知識・技能</p> <p>様々な活動を通して<b>曲想と音楽の構造などとの関りについて理解する</b>とともに、そこから得られた知識と、<u>創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を関連付けて活用できるようにする。</u></p> <p>2 思考・判断・表現</p> <p><b>音楽表現について思いや意図をもつことができる</b>ように発問やワークシートなどを工夫して生徒の考えを促す。また、<u>グループ活動などを通して自分の考えと他者との考えを比較するなどして学びを深める。</u></p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>様々な音楽文化に親しみをもつために、発達段階に応じて適切な教材を選択し、音楽を聴くことや演奏することを楽しみながら活動できるように工夫する。また、支援が必要な生徒には適切な声掛けや補助教材を使用して、主体的に取り組めるようにする。</p>